

3あツプ運動

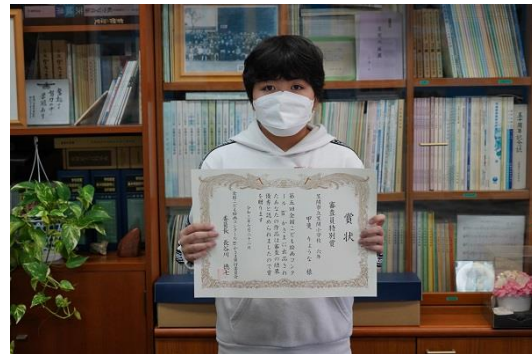
- ・あいさつ
- ・あとしまつ
- ・ありがとう
- +1夢や希望をもつ



学校だより「時習館」
令和3年11月8日(月)
笠間市立笠間小学校
第49号

祝 表彰 6年稲田さん 甲斐さん

6年生の稲田悠力さんが第57回JA共済茨城県小中学生書道コンクールにおいて【金賞】を受賞しました。また、同じく6年生の甲斐りょうなさんが第5回全国こども絵画コンクールin笠間において【審査員特別賞】を受賞しました。おめでとうございます。



市若手教員研修訪問指導

11月2日(火)と5日(金)に市教育委員会の若手教員研修訪問指導がありました。本校からは三瓶先生、大崎先生、佐藤先生、大津先生が授業を公開して指導主事から助言・指導をしていただきました。ICT機器を有効に活用し、学びあい活動も取り入れ落ち着いて授業を進めることができました。「見られることが最大の研修」だと思います。このような機会を多く取り入れ、授業力を向上させていきます。



コンプライアンス委員会の開催(毎月1回実施)

10月15日(金)コンプライアンス委員会より(体罰・暴言の根絶について)
職員の暴言についての意識調査アンケートより(一部抜粋)

- ・言われた人にとっては忘れられない場合がある。慎重に子どもに接する姿勢が大切である。
- ・言葉を発する前に一呼吸おいてから発することが大切である。
- ・自分では傷つけるつもりはなくても、受け手によっては違う場合がある。言葉遣いについては十分に配慮しなければならない。
- ・自分では気を付けているつもりでも、子どもにとってはどうなのかを厳しく見つめていかなければならない。このくらいなら...の甘い考えが多くの問題となってしまう。
- ・人権意識を正しく学んでいかなければならない。
- ・子どもの受け止め方は様々で、良いと思ってかけた言葉ややる気を出させようと思ってかけた言葉が子どもの実態に合っていない時がある。